

自己評価報告書

令和2年度

学校法人 佐藤栄学園

専門学校 埼玉自動車大学校

1. 教育理念

建学の精神「人間是宝」～人は生きた資本資産なり～を理想とし、人は誰でも努力と勉強次第で進歩向上するものであることを自覚させ、常に目標に向かって自己の可能性を試し、人としてより逞しく成長発展を目指し、観察力と創造的思考力の増進を図る。

2. 教育方針

学科・実習すべて全力を集中し、時間を有効に使い、無駄の無い生活をし、自己の最大の能力を開発する。

- (1) 人間はこの世の中に奉仕されるために生まれたのではなく、奉仕するために生まれたものであることを自覚し、自己の能力から創造の世界を発展させ、社会に役立つ仕事をするからこそ奉仕の生活にある。
- (2) この世の仕事は、アイデア次第でいくらでも進歩発展する。日々創意を新たにし、工夫して生活の充実発展を図る知能を養う。

3. 重点目標

- (1) 学生募集定員の確保
- (2) 整備士資格取得率100%
- (3) 就職率100%
- (4) 施設設備の充実

4. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的・育成人材像

| 評価項目 | 評価 | | | |
|---|-------|---------|----------|--------|
| | 4. 適切 | 3. ほぼ適切 | 2. やや不適切 | 1. 不適切 |
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学校における職業教育の特色があるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・特になし。

<今後の改善方策>

- ・特になし。

(2) 学校運営

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

| 評価項目 | 評価 | | | |
|--|----|---|---|---|
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 人事・給与に関する規程等は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

・今年度もシラバスなどの情報を最新のものに更新する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大が続くなか、今後も感染防止対策を強化しつつ継続実施していく。

<今後の改善方策>

- ・情報更新に向けて準備を行う。
- ・昼食時の感染防止指導をより強化する。

(3) 教育活動

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

| 評価項目 | 評価 | | | |
|--|----|---|---|---|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・ 特定整備等の新制度に対応した教育体制の確立。

<今後の改善方策>

- ・ 企業、業界団体等との連携を保ち、車の構造だけでなく最新技術・整備作業等を学生に身に付けさせ、社会に出てからも学生と社会人とのギャップが大きくなるよう教育する。また、このことは教職員についても同様で、教育の能力アップのための研修等もさらに強化する。
- ・ 社会の整備制度を注視し、迅速な対応とそれを含めた教育内容の見直しを進める。

(4) 学習成果

| 評価項目 | 評価 | | | |
|---------------------------------------|-------|---------|----------|--------|
| | 4. 適切 | 3. ほぼ適切 | 2. やや不適切 | 1. 不適切 |
| 就職率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 資格取得率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 退学率の低減が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

<課題>

- ・退学者0（ゼロ）を目指し、引き続き退学者低減の対策を施す。
- ・より積極的に卒業生の社会的な活躍及び評価を後援会企業等の協力を得て把握する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、長時間の学校滞在が厳しいため、資格取得のための補習時間が不足している。

<今後の改善方策>

- ・退学者低減の為に、学生の生活状況や性格の把握等、きめ細やかな学生指導を継続して行っていく。
- ・同窓会会報の送付および埼玉大祭等の学校行事案内を通じて、卒業生の来校促進にむけた情報提供等を行い、卒業生の動向把握に努めたい。
- ・時間的制約があるなかでの資格取得に向けた、より効果的指導の検討も継続して行っていく。

(5) 学生支援

| 評価項目 | 評価 | | | |
|-------------------------|-------|---------|----------|--------|
| | 4. 適切 | 3. ほぼ適切 | 2. やや不適切 | 1. 不適切 |
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生の生活環境への支援は行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 保護者と適切に連携しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 卒業生への支援体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題> ・特になし。

<今後の改善方策> ・特になし。

(6) 教育環境

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

| 評価項目 | 評価 | | | |
|--|----|---|---|---|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 防災に対する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外研修等の実施が困難な状況にある。

<今後の改善方策>

- ・感染症終息後に向けた、再開時の検討および現地との連絡体制の維持等に努める。

(7) 学生の受入れ募集

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

| 評価項目 | 評価 | | | |
|---|----|---|---|---|
| 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生募集活動は、適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生募集活動において、資格取得・進学または就職状況等の情報は正確に伝えられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・18歳人口の減少や若者の車離れが昨今叫ばれている状況下で、いかに自動車に興味を持ってもらえるかを考える。小学生や中学生、もっと若年の幼稚園生まで、広く子供たちに自動車の魅力や整備という仕事に対する理解を増やせるように、新たな企画を策定する必要がある。
- ・留学生の受入体制を整備し、留学生の増加に対応できる体制強化が急務となる。

<今後の改善方策>

- ・学生募集の最大の戦略は在校生の実績である。就職内定・資格取得はもちろん、社会人になるに当たっての人間教育が大切である。これは本校の特色でもあり、保護者・高校・企業等からも評価していただいております。今後も強化していく。
- ・留学生の募集から受け入れ、入学後のことまでを考慮した新部署の設置。

(8) 財務

| 評価項目 | 評価 | | | |
|--------------------------|-------|---------|----------|--------|
| | 4. 適切 | 3. ほぼ適切 | 2. やや不適切 | 1. 不適切 |
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 財務情報公開の体制整備はできているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・財政基盤の安定は、学生確保が基本となる。

<今後の改善方策>

- ・今後も少子化、整備士希望者の減少等厳しい状況が予想される。整備士の魅力を幅広く周知することで、学生募集の強化を図りたい。
- ・教育の質向上を図るべく経費を投下しながらも、他の経費を削減しつつ収支バランスのとれた経営を目指す。

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 評価 | | | |
|-------------------------------|-------|---------|----------|--------|
| | 4. 適切 | 3. ほぼ適切 | 2. やや不適切 | 1. 不適切 |
| 法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 自己評価結果を公開しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

<課題>

- ・自己評価、学校関係者評価だけではなく、第三者評価も視野に入れ検討する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・自動車分野の第三者評価の研究も進んでいるため、他の学校情報も確認しつつ実施出来るよう検討する。

以上